

ネモフィラ・インシグニスブルー

花だより

## 「ネモフィラ」

自然写真家 河嶋 秀直

春になると、小さな蒼い花を咲かせる・ネモフィラ。

和名を瑠璃唐草（るりからくさ）という。  
原産は北アメリカで、大きく分けて四種類  
あるが、一番知られているのは青いグラデー  
ションの「インシグニスブルー」という品種。  
アメリカでは「ベイビーブルーアイズ（赤  
ちゃんの蒼い目）」と呼ばれ親しまれている。

花は見たことがあるけど、名前を知らない  
という人が多いのに驚いたが、僕は、この花  
の花言葉を知って、より好きになつた。  
「可憐」「どこでも成功」そして「あなたを  
許す」が代表的なもの。

今コロナ渦で少し心が怯えている気がす  
る。他人の事を許す事が出来なくなつていて  
人もいて、殺伐としたニュースが流れる度に  
悲しくなる。

(次頁へ)

あなた(人)を許すという気持ちは、皆が心の奥底に持つていて優しいものだと信じているし、仏教の慈悲の心にも通じる気がする。

みんなが生きやすい世界は、みんなの心で決まる、許す心と何事も成し遂げるという強い心で…。人に贈る花の一つとしても喜ばれている。知り合いの喫茶店が、店の場所を移し新しい店をオープンさせたので、初めてお店に伺った時に、ネモフィラの写真を渡した。

「どこでも成功出来るように」と、花言葉も一緒に伝えると喜んで貰えた。

ネモフィラは強い花です、自然に分枝して咲きながら成長していく。人の縁も、そうやって広がり、成長していくればいいのに…。心の片隅でネモフィラを育ててみませんか、きっと明るい未来が待っていると思う。



ネモフィラ畑

今日も庭先に置かれたエサ台に姿を見せるかわいいお客様。来客がめつきり減ったかわりに毎日一羽のヒヨドリが遊びにきてくれます。周りを警戒しながらも、細くとがつた口先を上手に使つてミカンをついぱむ。そんな鳥たちを窓越しに眺めていると何だか心がなごみ、ほっとします。

### 雑記 歯ぎしり ごまめ

## 機嫌よく○○する

最近、パソコンの前に座る時間が多くなりました。ユーチューブで「英会話や「エッセイの書き方の動画」などを観たりするからです。その中でも、エッセイの書き方の動画は、目からウロコ！ ヘーそうだったのかということばかり。例えば、テンポ良く書くには、機嫌よく書くことが大切。原稿用紙（今はパソコンが多いかも）に向かうときには、深呼吸をしてから書き始めます。決して誰かと喧嘩をした直後に書いてはいけないそうです。

そう教わって書いてはみたものの、なかなかテンポ良く進みません。おまけに夫が「もう書けた？」なんて聞いてきます。深呼吸、深呼吸。ふうー。窓を開けて庭を眺めると、水仙が綺麗に咲いています。気分が上がったところで、エサ台の方に目を向けると、白くて丸い物体がじつと動かずに何かを待っている様子。あー、猫だ！ 人間とは浅はかなものです。鳥にエサを与えて喜んでいましたが、動物の世界では、食うか、食われるか。ひょっとして、わたしは猫にエサをーー。思い通りにならない今のご時世、皆さんはいつもハッピーですか？ 自分の機嫌くらい自分でとりたいもの。自分の心の器が良からぬ感情で一杯になる前に、まずは深呼吸、深呼吸。新鮮な空気を取り入れることが大事ですね。

## オーダーメイドの

### 自立支援を図指して

エゼル福祉会 理事長 大川 美知子

#### 【丁寧な個別の支援を】

障害のある人が親と離れて暮らしが始める道筋は決してワンパターンではありません。障害者だから入所施設に入る・・・通つて、施設がグループホームを建設したからグループホームで・・・と言う、これまでの概念を捨てて、その人らしい自立を当事者の意向に添つてどのように作つて行くのかが今問われ始めていると思います。

グループホームに空き部屋が出来たので、6月から新しい入居者さんに入つて頂く」

となりました。今回、自立支援の対象となつたA君はお父さんが80歳を越えておられ、お母さんも70歳代の後半で、親子一緒に暮らしさは限界だと言うことで、職員、私が協議の上で入居が決定しました。もう何年も前からヘルパーさんと外出したり、ショートステイを楽しんだりと親以外の人の介護を受けることが上手になつていたAさんはいつでも自立生活に踏み出せる力を持つていて方でした。「お待たせしてごめんなさい」と言う気持ちでお誘いした私達に親御さんや、「本人が「他にも入居を希望される方がいらっしゃるのに・・・」と申し訳なさそうに言われる様子を見て、長い年月、要望に応えられなかつた自責の思いと、「親離れ」が一向に進まない陰に限られた選択肢しか与えられない障害福祉制度の貧しさが

通所部 職員 大野 香織里

#### 【不安な気持ちを・・・】

Aさんはとても頑張り屋。周りをよく見て人に気を遣い、周りの反応にとても敏感な方です。

チャレンジホームで自立生活の体験実習をしたり、「自宅でも家の手伝いをされたり、これまでも自立に向けて頑張つて取り組まれていました。

以前は一人暮らしもいいと考えていたAさんですが、他施設のグループホームに見学

で、生活の作り方も障害によって、その人の性格によつて又、好みによつて違います。A君を中心に据えて、周囲(応援団)も当事者が納得の行く自立への道筋に関わっています。それぞれがこれから始まるA君との長い付き合いにワクワクしながらA君の未来にエールを送ります。

に行つた際、「グループホームのほうがいい

な」と感じ、目指す方向を変えて最近では施設見学にも積極的に取り組まれてきました。

そんな折、生活支援部の職員からAさんに、グループホームへ入らないかと話がありました。

話があつた翌日のお昼休みに時間をつくり、私が何の話だったのかを尋ねると、Aさんはニコニコといつよりも気持ちが抑えられないような二タニタとした表情で「なんと、なんとね。グループホームに入らないかって！やつたー！」とガツツポーズ。ずっと希望していた自立への一歩が踏み出せる嬉しさが伝わってきました。

「どんな部屋にしようか、何置こうかな…？」と楽しみな様子で話をする。その一方で、「他にもホームに入居したい人は居るんだよね…」と他の仲間のことを気にしていること、まだ経験したことのない自立への不安

を語ります。「何が不安なの？」という私の

問いかけに、環境の変化、失敗したらどうしよう…、家族と離れて暮らす寂しさも話してくれました。さつきまで喜びいっぱいの表情だつたのに、自分の本音を語つては駄目なのかも…うど。私はそんなAさんを見て、本心を私に話してくれたことが嬉しいとお礼を言いました。

その日から「自立生活のイメージを作る」と、不安を抱えて心が疲れてしまわないように」と、生活支援部の職員とAさんが話をした翌日にWILL（通所）でも時間を作り、Aさんが気になつていること、疑問に思つていることなど話を話し合い、一緒に気持ちを整理し、「じゃあ次に、生活支援部の職員と話をするとき」聞いてみたら…？」と通所部の職員という立場から自立生活へのチャレンジを後押ししています。

## 【通所職員だからこそできる】

私はこれまで通所部の職員は、生活支援部

の職員のように一緒に生活を作り上げる

ことはできない、直接自立生活に関わることはできないと、自分の役割をつかみあぐねていました。今回、Aさんの自立の瞬間に立ち会

うことことができて、Aさんが楽しみの裏側に感じている不安や、わからないことを誰かに聞

いてほしいという気持ちに寄り添い、一緒に

考える存在の必要性を感じました。仲間と毎日顔を会わせる通所の職員だからこそ担える役割、その機会が与えられたことを嬉しく思ひ、彼の自立生活が楽しいものになること

を期待しています。

**生活支援部 現場総合主任 神原 芳典**

Aさんにグループホーム入居について話した際、「嬉しい」、「楽しみ」、「頑張りたい」と前向きな言葉が出た一方、些細なことでも

何かを決める場面がでてくると、途端に顔がこわばり不安そうな表情が見てとれました。Aさんは本心ではどう思っているのだろうと、後日Aさんのお母さんに相談しました。お母さんは、入居したい気持ちと、他の仲間に申し訳ない気持ち（ホーム入居を希望する人が多いのに自分が入居者となること）があるのではないかと言われました。

また、何気なく周りの人から言われた言葉、例えば「ヘルパーさんと買い物に行けばいいね」という言葉でも、いつ、何を買えばいいのか、早くやらないといけないんじやないかとプレッシャーになってしまっているようで、家ではお母さんがそうした疑問に1つずつ答えてくれているとのことでした。

Aさんの不安が少しあつた気がして、そのことを通所の担当職員にも伝えると、私は見えていなかつた様子が見えてきました。

このままAさんの入居準備を進めてはいけないと気付き、通所の担当職員も交えて改めてAさんと話しました。

Aさんは一人で自己決定、自己選択する」とは苦手なのですが、「自分はこうしたい！」という意思をはつきりもつている人だとわかりました。

Aさんが自分らしい暮らしを作っていくために、その複雑な気持ちと周囲がどう向き合っていくかが支援のポイントになります。

周囲の人間（通所部職員、生活支援部職員、相談支援員、家族）がそれぞれの立場から多面的にAさんを捉えられるよう、関係者の綿密な連携が必要だと思いました。

しかし、その言葉が、周囲への気遣いからリップサービスであることもあるため、敏感なAさんの気持ちを想像して準備を進めたいと思います。

これまでの反省から、Aさんが見通しをもてるよう、毎週定例でAさんも交えて担当者（生活支援、通所、相談支援）会議を行い、1週間の進捗状況と今後の予定を確認するようになりました。



何を、いつまでに、誰と行うかを関係者で共有できるようチェックリストを作成し、言葉や文字の説明が多かった工程表を可視化したことで、Aさん自身がその工程表をもとに家族やヘルパーと予定を確認できるようになりました。

このままAさんの入居準備を進めてはいけないと気付き、通所の担当職員も交えて改めてAさんと話しました。

Aさんは一人で自己決定、自己選択する」とは苦手なのですが、「自分はこうしたい！」という意思をはつきりもつている人だとわ

かりました。

Aさんが自分らしい暮らしを作っていくために、その複雑な気持ちと周囲がどう向き合っていくかが支援のポイントになります。

周囲の人間（通所部職員、生活支援部職員、相談支援員、家族）がそれぞれの立場から多面的にAさんを捉えられるよう、関係者の綿密な連携が必要だと思いました。

しかし、その言葉が、周囲への気遣いからリップサービスであることもあるため、敏感なAさんの気持ちを想像して準備を進めたいと思います。

これまでの反省から、Aさんが見通しをもてるよう、毎週定例でAさんも交えて担当者（生活支援、通所、相談支援）会議を行い、1週間の進捗状況と今後の予定を確認するようになりました。

## 多様な自立のかたち

生活支援部 現場総合主任

溝口 愛

います。

マンションの一室（4LDKの間取り）で、Kさん、Sさん、Fさん3人がルームシェアをしています。まず、家の中に入った瞬間とでもゆつたりとしたあたたかい雰囲気を感じました。それぞれの部屋は大好きなキャラ

クターやアーティスト、家族の写真などで彩られ個性豊かな「私の部屋」になっていました。

夕食の時間になるとリビングで一緒に食卓を囲みます。視線をおくったり、相手の声を聞いて笑つたり、ヘルパーと話をしたりとても明るく楽しい時間です。

先日、障害をもつ仲間3人（40～50代の女性）がルームシェアをして暮らしているお宅にお邪魔する機会がありました。その生活の様子から、今後の支援についてのヒントをたくさんいただったので紹介したいと思

眠くなり「お先に」と自室へ戻るSさん。（Fさんは実家帰省のためいらっしゃいませんでした）一緒にいる時間、それぞれ好きに過ごす時間、その両方がうまく絶妙に混ざり合っているように感じました。

どのような生活スタイルが合うかは人によって様々だと思います。人のいる明るい雰囲気を感じて安心する人、他の仲間を見てそれを頼りに見通しをつけていく人、逆に人が多いと気を遣つて疲れてしまう人。一人暮らしやグループホームだけでなく、ルームシェアという形もこれから自立を考える上で重要な選択肢の一つであるということを実感しました。

また、ヘルパー側から見てもとても興味深い支援形態だと思いました。利用者それぞれにヘルパーが派遣されているので、多い時はKさんに2人、Sさんに2人、合わせて4人のヘルパーが入る時間帯があります。

平日、土日全ての時間帯を一つの事業所で賄うことはできないので、複数の事業所のヘルパーが支援することになります。他事業所のヘルパーと現場を共にすることは、お互いにとって良い緊張感が生まれます。介助マニュアルの中だけでは伝えきれない実践理念を、現場と共にすることで他事業所のヘルパーと共にしているチャンスでもあります。また、自分たちでは気づかないことを相手から学ぶ機会もたくさんあると思います。

生活の支援は利用者との距離がとても近くなります。一つの事業所だけでは視野が狭くなり、自分たちの支援方法が絶対かのように錯覚してしまった危険性があると思います。また、ある程度生活が整つてると支援がルーティーン化して、状況に合わせて変えていかなくてはいけないことがなかなか気づくことができません。そういうことからもう、複数の事業所が同時に支援を提供しあうといふスタイルにとても興味をそそられました。

先に書いたように、他事業所ヘルパーと一緒に支援していくとなると、職員のコミュニケーションスキルも今以上に求められます。人材の確保と育成が大きな課題です。しかし、どんな可能性があるのか？次の自立生活の対象となる人たちに合うのはどんなスタイルなのか？今から考えていかなくてはいけません。他法人、他事業所の先駆的な取り組みから学び、じゅういたものが良いのか皆で考えていきたいです。



**2021年4月よりエゼル福祉会に入職した  
職員さんの他己紹介と本人からひとこと♪**



**～ 他己紹介 ～**

- ★スポーツが大好きな  
職員さん（利用者 女性）
- ★大きな体に優しい心がぎっ  
しり詰まったナイスガイ！  
(通所部職員 男性)

～本人からひとこと～  
思いやりの精神で1人1人に  
寄り添い、持ち前の元気と  
パワフルさで皆を笑顔に  
していきます！！



**通所部 V.O.L.O  
田原 義宏**

**通所部 W.I.L.L  
加藤 那月**



**～ 他己紹介 ～**

- ★優しくて面白い人です  
(利用者 女性)
- ★明るくて、お菓子作りが  
とっても上手な方です  
(WILL 職員 女性)

～本人からひとこと～  
作る事、食べる事が  
大好きです  
3人の子持ちで体力には  
自信があります！！



生活支援部  
伊藤 翔磨



～他己紹介～

★おもしろくて楽しい人

(利用者 女性)

★素直で教えられた仕事を

T寧にやる頑張りやさん

(生活支援部職員 女性)

～本人からひとこと～

ステキな笑顔を届けます

みんなで作ろう

笑顔のWA！！

～他己紹介～

★素直で楽しい人

(利用者 男性)

★料理の上手なラガーマン

(生活支援部職員 男性)

～本人からひとこと～

これから暑くなりますが

体調管理をしっかりして

みなさんと楽しく

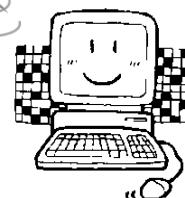
過ごせたらなと思います！

生活支援部

松本 浩希



## 事務局コーナー



## 「ご協力ありがとうございました」

3月～4月（敬称略・順不同）

## ★ ご寄付いただいた方々

(NPO 法人コンビニの会)

※会報購読料1万円以上お振込みの方

小島 恵 朝比奈幸生

戸田裕美子

## ★ 物品寄付をいただいた方々

(コンビニハウス)

ファミリーマート名古屋東店 安藤道則

井口結唯

(WILL)

浅井宏紀 栗本博美 大森直子

松村定彦 井上祐子

(VOLO)

安積奈菜子 久保昂太朗

塩澤しのか

## ★ 活動にご協力いただいた方々

(コンビニハウス)

藤本菜見 石原正寅 田村淳仁

石原まち 寺西 剛 鈴木千春

東原光江 榊原さち 酒井まみ子

村上梨央 森岡佳乃 隅田 豊

伊藤翔磨 岩崎桃佳 上野知志

松本浩希 和田遙香 磯村みづき

西川昇吾 清水柚衣 川口侑里

栗本博美 戸部アスカ

## ★ 会報発送ボランティア

半田素子 丹羽正子 佐藤美紀子

## 梅雨の時期を乗り越えましょう

梅雨の時期になると頭痛やめまい、なんとなくだるいなどの体調の変化を感じやすくなります。湿度が高くなるため、カビやダニが発生しやすい時期でもあります。

## ★梅雨の時期に注意すること★

## ・睡眠を多くとりましょう

気圧の変化が激しいため、いつもより身体が疲れていることを自覚し十分な睡眠や休憩をとることが大切です。

## ・食品の扱いに気を付けましょう

肉や魚・野菜など、冷蔵冷凍が必要な食品は買ったらすぐに冷蔵庫に入れましょう。食品を扱う前後は、石鹼で手や指をよく洗いましょう。料理は出来てからなるべく2時間以内に食べましょう

## ・マスク着用時にも注意

マスクを着用していると呼吸がしにくく熱中症になる危険も。深呼吸をしたり、こまめに水分補給をし、体調管理をしていきましょう。

\*\*\*\*\* 《活動状況》 \*\*\*\*\*

3月

- 3日 看護師会議
- 4日 理事会(オンライン)
- 10日 職員試験・面接
- 11日 自立支援協議会会議(オンライン)(大川)
- 16日 名古屋生活支援事業所連絡会会議  
(オンライン)(渥美)
- 16日 評議員会(オンライン)
- 18日 通所主任会議
- 19日 日本福祉大学 渡辺先生 VOLO訪問
- 21日 ショートステイ簡易陰圧装置設置工事
- 23日 会報発送
- 23日 全職員会議
- 23日 サービス管理責任者更新研修(若林)
- 25日 通所部 親の会
- 30日 同朋大学学内福祉展フェア  
(オンライン)(榎原・山崎)

4月

- 1日 新入社員オリエンテーション
- 2日 会報会議
- 5日 VOLO 利用者様二名 入所式
- 6日 生活支援部主任会議
- 8. 22. 30日 担当者会議(グループホーム)
- 13日 防災会議
- 15日 通所主任会議
- 15日 暮らしの場交流会(宇都宮)
- 20日 新年度方針説明会
- 20日 名古屋生活支援事業所連絡会会議  
(オンライン)(渥美)
- 22日 通所部 親の会
- 29日 W I L L／VOLO祝日開所
- 30日 自立支援協議会報酬改定講習会  
(オンライン)  
(榎原・渥美・水谷・佐藤・大西・寺澤)



社会福祉法人エゼル福祉会

## おかし工房WILL ゆめや 新商品のご案内

障害のある仲間たちが心を込めて作りました。自慢の手作りお菓子です。  
お菓子を通じて地域とのつながりや笑顔の輪を広げていきたいと思っています。



**NEW!!**

### ココナッツココアパウンド 400円

人気のパウンドケーキからこの春、新商品が登場します！

ココアを練りこんだ生地に、ココナッツをたっぷり混ぜ込み、ふっくらと焼き上げました。

しっかりとした濃厚さの中に、ココナッツの軽やかな食感が楽しめます！

ボリュームも満点！お好きな大きさに切り分けてたっぷり5~6枚分のボリュームがあります。

ぜひ一度ご賞味ください！

◇アレルギー品目：小麦・卵・乳 ◇縦8.5cm×横11cm×高さ4.5cm（ケーキ型寸法）

社会福祉法人エゼル福祉会 お菓子工房WILL ゆめや

営業時間：10:00~17:00

〒452-0813名古屋市西区赤城町146番 TEL/FAX:052-505-6089

E-mail:ezeru-will@xj.commuufa.jp

HP:<http://ezeru.sakura.ne.jp/>



商品のデザインや形が変更となることがあります。

#### 【銀行口座】

三菱UFJ銀行 小田井支店 店番238(普) 口座番号1440108

特定非営利活動法人 コンビニの会

#### 【郵便振替口座】番号 00800-2-35190 コンビニの会

ご意見・ご質問・お問い合わせは下記までお寄せください。

障害のある人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人

〒452-0807 名古屋市西区歌里町147番地

コンビニハウス Tel (052) 502-7731

Fax (052) 505-6082

コンビニの会  
理事 宮川 優子

URL <http://ezeru.sakura.ne.jp/>  
E-mail [convini@beach.ocn.ne.jp](mailto:convini@beach.ocn.ne.jp)

